

# プライオリティ・コンピテンシー・モジュール

## 1. 自分の行動と会社の価値観を合わせる

組織の価値観に合わせて行動することは、成功への第一歩です。



### 【目的】

このモジュールでは、あなたが自分の組織の価値観に沿って物事を考え、仕事上の行動や決定をその価値観に合わせることを学びます。自分が所属する組織の価値観に沿って行動することで、あなたはその組織での成功に向けて第一歩を踏み出すことができます。

## 1. 自分の行動と会社の価値観を合わせる

組織の中で成長し、評価され、重要なポジションに向かって進むために必要な原動力、あるいは、仕事に対するアプローチとはどのようなものでしょうか？

組織の中で成果を上げるためには、その組織が持つ重要な価値観と、そこで働く一人ひとりの価値観との整合性が取れていることが必要です。

では、組織の持つ重要な価値観とあなたの行動を合わせるために、具体的にどのようにすればいいのかを考えます。

### 【課題】

あなたは一生懸命に働いて、現在の地位で、ある程度の成功を収めていますが、自分の行動と同僚や周囲の人たちの行動が、何が違うと感じたことはありませんか？

同僚たちは日ごろから評価され、認められています。あなたはそうでもありません。

何が違うのでしょうか？

「偉大な国、偉大な教会、偉大な学校など、長く続いている機関の基礎をなしている理想のように、ビジョナリー・カンパニーにとって、基本理念は組織の土台になっている基本的な指針であり、われわれが何者で、なんのために存在し、何をやっているのかを示すものである」

— ジェームズ・C・コリンズ／ジェリー・I・ポラス

# プライオリティ・コンピテンシー・モジュール

## 【コンセプト】

価値観が行動を生み、そして行動が結果を生み出します。あなたには自分の行動を方向づけるあなただけの価値観があります。そして、あなたの組織には事業展開を方向づける価値観があります。組織で成功するには、自分の行動を会社の価値観に合わせなくてはなりません。

あなたがしなければならないこと：

- あなたの会社のもっとも重要な基本的価値観に関する証拠を集める。
- あなたの行動を会社の価値観に合わせる。

## あなたの会社のもっとも重要な基本的価値観に関する証拠を集める

たいていの企業には、行動や決定を方向づける独自の価値観があります。規模や社員、事業内容、業務プロセスなどが全く同じ組織は二つとしてないのと同様に、会社が持つ価値観も異なります。価値観は、会社の文化や個性の一因となるものです。

価値観は次のようなことに表れます。

- 顧客への接し方
- 社員同士の連携
- 仕事の進め方
- 業績に対する報奨
- どのような行動や態度が受け入れられ、奨励されているか

## 1. 自分の行動と会社の価値観を合わせる

たとえ会社の行動が会社の価値観と一致しないことがあったとしても、あなたの行動が会社の価値観と一致していれば、あなたは満足感をおぼえ、自分自身の生産性を高めることができるでしょう。

### あなたの行動を会社の価値観に合わせる

あなたの会社にはどのような価値観があるかを知り、その価値観に基づいて決定を下し、その価値観に沿って行動する能力が、社内でああなたが成功できるかどうかの鍵を握っています。

一方、企業は、社員やメンバーが自身の行動を組織の価値観に合わせられるよう、価値観を明確に定義する必要があります。

例えば、娯楽施設を運営するある企業の価値観に「お客様が心から楽しみ、夢を見ていただく」があったとします。

行動や態度をこの価値観に合わせる社員やメンバーは成功をおさめ、そうでない人は失望や挫折を味わうことになるでしょう。

# プライオリティ・コンピテンシー・モジュール

## 【ケーススタディ】

ノードストローム百貨店はその卓越したサービスと、顧客のためにいっそうの努力をしようという意欲により、アメリカ国内で高い評価を得ています。顧客に対するこうした接し方は、同社の誇る文化です。ノードストロームの社員たちの顧客サービスにまつわる逸話の数々は伝説的に有名です。

例えば、ジェームズ・C・コリンズとジェリー・I・ポラスによって書かれた『ビジョナリー・カンパニー 時代を超える生存の法則』（日経BP社）には、ノードストロームの社員たちにまつわる、次のような実話が紹介されています。

- その日の午後の会議で必要だというので、お客様が買ったばかりのワイシャツにアイロンをかけた。
- ライバルの百貨店であるメイシーズで購入した商品を贈物用に包装してほしいというお客様のリクエストにも嫌な顔をせずに応えた。
- 冬はお客様が買い物を終えるまで、その人の車を暖房で温めておいた。